

イザリ漁にご用心

～冬季夜間海浜事故事例と安全対策について～

第十一管区海上保安本部

交通安全対策課

令和2年12月



イザリ漁とは



イザリ漁とは

夜間引き潮時のイノー(礁池)^{※1}内の生物を採捕する沖縄地方伝統の漁法で、特に夜間大潮になる冬場に盛んとなり、漁業者に限らず一般の方においても行われています。

※1 イノーとは、海岸から波が砕けるサンゴ礁のへりの高まりまでの浅い海のことをいいます。

- ★主に徒歩で海の生物を採捕する
- ★体験ツアーや生物ウォッチングとしても行われる。
- ★暗い中に行われることから、転倒や深みにはまったり、潮が満ちてきてリーフに取り残されたりする危険性があり、県内では過去5年間に7人が事故に遭っている



イザリ漁に伴う事故事例



深みにはまり溺水

- ・日 時：令和2年12月17日 午前4時頃
- ・場 所：沖縄県石垣市
- ・事 故 者：県内在住男性(30代)
- ・事故内容：溺水
- ・救命胴衣：非着用



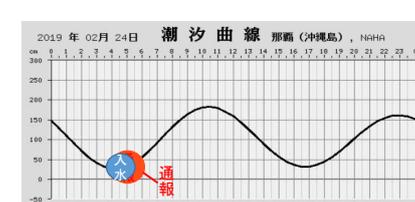


【概要】
 事故者は職場の同僚3名と計4名でイザリ漁を行うため石垣市の海岸を訪れた。その後、事故者は深みにはまって海水を飲み、自力で深みから脱出したものの、身体が冷えて力が入らなくなったため、同僚に助けを求め、同僚の肩を借りて浜まで戻り、119番通報を行ったもの。その後病院に搬送され、処置の後、帰宅した。

モリの取扱不注意により、負傷

- ・日 時：令和元年2月24日 午前4時頃
- ・場 所：沖縄県北谷町
- ・事 故 者：県内在住男児(10代)
- ・事故内容：負傷
- ・救命胴衣：非着用





【概要】
 事故者は、同級生7名と共に計8名でイザリ漁を行うため北谷町にある海岸を訪れた。その後、事故者はモリの取り扱いを誤って自分の足を負傷したため、同級生が119番通報を行ったもの。その後、事故者は救急車で病院に搬送され、処置の後、帰宅した。

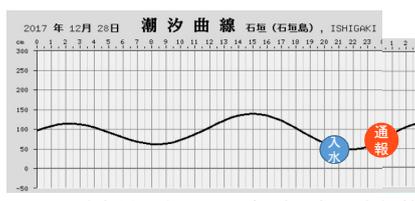
イザリ漁に伴う事故事例



帰還目印不存在により迷走し、帰還不能

- ・日 時：平成29年12月29日 午前0時頃
- ・場 所：沖縄県石垣市
- ・事 故 者：県内在住男性(50代)
- ・事故内容：帰還不能
- ・救命胴衣：非着用



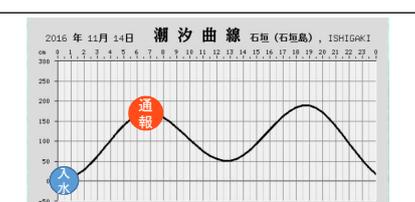


【概要】
 事故者は1名でイザリ漁を行うため石垣市の海岸を訪れた。その後イザリ漁を行っていたところ、自身の位置を見失った。事故者は陸地の方向がわからないまま歩いたため、陸地には到着できず、潮位が高くなったことから、110番通報を行ったもの。事故者は消防隊員に救助され、怪我がなかったことから、帰宅した。事故者は同所にて複数回イザリ漁を行っており、普段は陸地に目印としてフラッシュライトを置くようにしていたが、この日は自宅に忘れ、目印が無い状態で入水していた。

満潮時刻の不把握から潮位上昇により、帰還不能

- ・日 時：平成27年11月14日 午前2時頃
- ・場 所：沖縄県石垣市
- ・事 故 者：県内在住女性(60代)
- ・事故内容：帰還不能
- ・救命胴衣：非着用





【概要】
 事故者は、友人1名と共に計2名でイザリ漁を行うため石垣市の海岸を訪れた。その後、事故者は友人と別行動で満潮時刻を把握しないでイザリ漁に没頭していたところ、満ち潮の影響で、所々胸が浸かるほど深さがある沖合に立っていることに気づいた。さらに潮位が上がリ、事故者は立っていることができなくなり、明かりが見える方向に泳ぐも、陸地には畏れず、付近のリーフ上に立っていたところ、消防の水の上パイプに救助されたもの。その後、病院に搬送され、診察後帰宅した。

事故防止対策 JCG 海上保安庁

事故防止のために

知ってほしい 守ってほしい 安全対策

気象・海象への注意

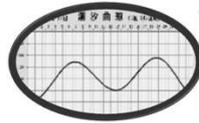
- ⇒ 事前に潮汐を確認し、干潮時刻を過ぎたら陸に戻るよう気をつけましょう
- ⇒ 強風、風・うねりが高いときは危険です。気象の変化に注意しましょう
- ⇒ 津波情報など、緊急の情報を入手する手段を確保しましょう

安全のための装備

- ⇒ 防水ケース入り携帯電話を携行して緊急時の連絡体制を確保しましょう
- ⇒ 足元を照らすライトに加え、帰る時の目印として海岸線等に置くライトも用意しましょう
- ⇒ 毒を持った魚介類や危険な岩場があるので、底の硬い靴を履きましょう
- ⇒ ライフジャケットを常時着用しましょう

イザリ漁の際の行動

- ⇒ 単独行動を避けて複数人で行動しましょう
- ⇒ イザリ漁の計画を第三者に伝えておきましょう
- ⇒ 子供だけで行かず、保護者や指導者と同行しましょう
- ⇒ 体調管理に気を配りましょう



事故防止対策 JCG 海上保安庁

事故防止のために

海上保安庁では、海の総合安全情報サイト「ウォーターセーフティガイド」を設け、マリネジャー愛好者に各レジャーの安全に必要な知識やルールを紹介しています。そのほか、Twitter及びYouTubeにおいても広く事故防止を呼びかけています。

また、沖縄県の「潮汐推算」を確認することができるウェブページを設けているほか、灯台などで観測した風向、風速、波高などの気象海象の状況「海の安全情報」をリアルタイムに提供しています。

【ウォーターセーフティガイド】

海上保安庁ホームページ掲載



【潮汐推算 沖縄県】

海上保安庁ホームページ掲載



【海の安全情報】

海上保安庁ホームページ掲載





イザリ漁に限らず、沖縄県では、漁業者以外の方が採る事を禁止されている魚介類や、使用が禁止されている漁具・漁法が定められていますので、事前に地元の漁業協同組合や沖縄県水産課のホームページなどで確認して下さい。

【資源管理型漁業】

沖縄県漁業協同組合連合会ホームページ掲載



【漁業権について】

沖縄県ホームページ掲載

